
コース名：英語分析のためのワードスミス利用法基礎

(金子朝子)

対 象：英語教員で英語分析ツールの利用入門段階の者、ワープロ経験は必要

目 標：教材の英語や学習者英語のコーパスを分析するのにワードスミスがどのように利用できるかを理解し、自身の研究や授業のために利用法を計画することができる

研修時間：一日

研修内容：

研修方法：

導入

講義

ワードスミスの概要

ワードスミスの基本操作

講義と実習

- ・コーパスファイルの選択
- ・単語リストの作成
- ・単語リストの加工と活用
- ・コンコーダンスの基礎
- ・ヘッダ情報
- ・テキスト内のタグ付け

利用計画の立案

実習と討論

教員個人の研究のための利用法や授業

のための利用法を検討し、相互評価する

研修評価の観点：

- ・ワードスミスの利用法がどれだけ理解されたか
- ・利用計画の立案がどれだけ具体的になされたか

ラショナル：

これまで大学の英語教員は、かなりの時間を費やさなければならなかったことが原因で、教材の英語や学習者の英語を数量的に分析することを敬遠してきた。そこで、この研修プログラムでは、英語分析ツールのワードスミスの利用法を導入し、基礎的な操作方法を学び、自身の研究や授業で利用することが出来るようになることを目指す。実習を重視し、研修後にそれぞれがファイルを作成し、それを分析するための基礎を提供する。

参考文献：斎藤俊雄他編（1998）『英語コーパス言語学』東京：研究社

備 考：

ワークショップの形態で、人数は15名以内が望ましい。あらかじめワードスミスと英語のファイルをコンピュータにインストールしておくが良い。デモ版をフロッピーにコピーし、研修後参加者に配布する。
